

さわがしい 埼玉王

バーンメーサーペータエー校へ 校舎 1 棟 4 教室を寄贈



▲校舎の壁面に寄贈の記録が書かれていた

▲寄贈の証として写真を渡す西條副会長

▲引渡し式が行われる教室の前に集まった子どもや村人達

昨年度の総会決議に基づき、九月に覚書の調印を済ませ、メーホンソン県クンユアム郡バーンメーサーペータエー校に建設してきた校舎が、予定通り本年一月に完成しました。二月十九日、同校で引き渡し式が行われ、これに合わせ第八回親善訪問が実施され、西條副会長等二十名が引き渡し式に出席しました。

式典は新しい教室の中で行われ、先ず西條副会長が挨拶し、その後県教育局の代表者に寄贈の証として校舎の写真が渡されました。その後同氏がお礼を述べ、当会参加者に記念品として布製のバッグが渡されました。続いて当会の高橋会員や原武州ガス(株)社長等から、持参した記念品や文房具が手渡されました。教室の外には子ども達や多くの村人達が集まり、式典を見守っていました。

その後、日本語を学んでいるという高校生が浴衣姿で日本語でお礼のスピーチをしました。また同校子ども達によるバンブーダンスや刀の舞などの民俗舞踊もあり、出席者は盛んな拍手を送っていました。

今回の寄贈施設の総工費は日本円で約三百三十万円、会員からの年会費と(財)埼玉県国際交流協会からの助成金により建設されました。

出席者は、前日に成田を出発、バンコクで乗り継ぎ、チェンマイで一泊。この日の早朝に四台の車に分乗し六時間かけて同校に到着しましたが、村を挙げての歓迎と子供たちの笑顔に、疲れを忘れて感激し、交流を深めました。



▲出席者全員で記念撮影



▲引渡し式の会場内でお礼のスピーチをしました



▲窓から会場内を見る子ども達

彩の国国際貢献賞を受賞

会長 原 宏

この度、私達の会、埼玉・タイ王国友好協会が上田埼玉県知事より「彩の国国際貢献賞」を受賞しました。二月二十日に、その授賞式がさいたま市の国際交流基金日本語国際センターで行われ出席しました。

この賞は国際交流や国際協力の分野でその功績が顕著であった団体や個人を表彰し、埼玉県民の国際貢献活動を促進することを目的に設けられたものであります。私達の十年余りの地道で着実な活動が高く評価されたものと、会長として、役員をはじめ会員の皆様に深く感謝申し上げます。本年度の総会で、この賞状をご披露申し上げ、会員の皆様と喜びを分かち合いたいと思っております。



▲上田県知事より賞状を受取る原会長



▲上田県知事と原会長



▲ロビーでは活動を紹介

折りしもこの時は、六回目の教育施設寄贈となるバーンメーサペータエー校での校舎一棟の引渡し式に出席するため第八回友好親善訪問団がメーホンソン県を訪ねている時でした。私は今回、所用のため出席を断念致しましたが、その引渡し式も盛大に滞りなく行われ、会の歴史にまた新たな足跡が加わりました。西條副会長をはじめ参加された会員及び関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今、東日本大震災に対して、海外からも多くの支援が寄せられていますが、私達の「草の根外交」もその一助となっているものと確信しております。



▲歓迎のアーチをくぐり会場へ向かう参加者



▲恥ずかしげな表情で挨拶を返す子ども達



▲鮮やかな衣装と優雅な動きに目を奪われる

歓迎

出迎え

引渡し式 アルバム



▲社内で呼びかけて集めた記念品を渡す高橋会員



▲記念品を渡す原武州ガス株式会社社長



▲記念品のバッグをかけてにっこり

交流



▲記念品のバッグを受取る会員



▲高校生の巧みな日本語の発音に大きな拍手が



▲記念品のバッグを受取る会員

訪問団が寄贈施設を訪問

バン・ナイ・ソイ校とバーンパーンホウエータード校



▲参加者全員で記念撮影

引渡し式の翌日、訪問団一行は四年前に寄贈したメーホンソン市内のバン・ナイ・ソイ校の図書館を訪問しました。この日は日曜日で子供たちには会えませんでした。大変きれいに使われている様子で、子供たちの創作絵本なども展示してありました。見学した参加者からは、本の数が少ないのでは、などの感想も聞かれました。またPCも



▲挨拶する原敏成武州ガス株式会社社長



▲登り坂が続く学校への道

置かれ多目的に使われている様子も伺えました。同日、チェンマイに戻った一行は、翌二日、二年前に図書館を寄贈したバーンパーンホウエータード校を訪問しました。同市内から約一時間、途中から屋根付の乗り合いトラックに乗り換えての訪問でした。到着した一行は、子ども達総出の迎えを受け、ジャスミンのレイを掛けてもらうと早速図書館内を見学しました。ここも大変明るく心地よい雰囲気レイアウト



▲校庭に全員が集まったの歓迎式典

がされ、大事に有効に使われている様子が見えました。その後歓迎式典が行われ、当会長代理として原武州ガス株式会社社長が挨拶に立ち、子供たちへ未来に向けたメッセージを伝えました。その後、一行は供された茶菓を味わいながら、子供たちのダンスなどを見学し、短い滞在を惜しみながら同校を後にしました。



▲巧みなフラフープのダンス

盛況

BOI投資セミナー

去る二月二三日、大宮の「パレスホテル大宮」で、タイ王国大使館主催の「BOI投資セミナー」が開催され、当会も埼玉県や埼玉りそな銀行などと共に地域後援の協力を行いました。当日は県内企業から二二〇名余りが参加し、会場は満席の状態でした。当会からも吉田事務局長が出席しました。

セミナー第一部では、「タイにおける政治・経済状況とビジネス環境」と題した、パリエンス・ピリヤマールサクン大使による講演が、第二部ではクリッサダー・ウエーウィッタヤカラン参事官による「日本企業にとつてのビジネスチャンス」と題した講演がありました。日本語による具体的な話に、休憩時間になっても質問する参加者の姿が見られました。

第三部では、日本貿易振興機構（JETRO）のバンコクセンターの矢島洋一アドバイザーが、「タイにおけるビジネスの留意点」異文化における共存と共生」と題した講演がありました。



▲熱心に聴き入る参加者の皆さん

当日のセミナーの資料が当会事務局にありますので、必要な方は事務局までご連絡ください。

タイにアクセス

会員 VOICE

心に残る大きな宝物

タイ王国・ランプーン新電元(株)
タナ・ウォンチーナパン さん



この6年間教育施設を建設していただき、タイ人を代表して皆様の気持ちに厚く感謝します。一度きりの支援で終わることが多い中、この協会は活動の運営がしっかりしているため継続的に支援していただけることが素晴らしいと感じています。

第1回から西條副会長のご依頼で、現地のコーディネーターとして参加してきました。その感想としては、メーホンソン4回、チェンマイ2回の支援をしていただきましたが、チェンマイよりメーホンソンの方が、より喜ばれたように感じました。子供や村人達にとって心に残る大きな宝物になったことは確かです。やはりメーホンソンがより困っていると感じました。今後ともご支援を継続していただけたらと期待しています。

発電機2基を丸ごと貸与



タイ王国からの支援



東日本大震災で予想されるこの夏の電力不足に対し、タイ発電会社が、発電機2基を周辺の設備も含め丸ごと無償で東京電力に貸与することを決めました。

東京電力からの要請に、同会社が応じたもので、東京周辺で約24万世帯の電力供給を行う見通しだそうです。

貸し出されるのはタイ東部の発電所にあるガスタービン発電機で、電力の供給不足時のみに稼働する予備施設だそうです。発電能力は、1基あたり12万2000キロ・ワットで、貸出し期間は3～5年。発電機の輸送、設置、運転は東京電力が行い、設置場所は検討中とのことです。

(この記事は3月30日のYOMIURI ONLINEに配信された記事により作成したものです)

クンユアム 話

日本兵のお告げ

第8回友好親善訪問に向け、下見に行った一行が、クンユアムのレストランで聞いた話です。

クンユアムは、太平洋戦争時に日本陸軍のインパール作戦の基地となり、多くの敗残兵がこの地で亡くなり、戦争博物館が当時の様子を伝えています。

このレストランの女性経営者が、日本軍のキャンプ地だったこの土地を下見していた時、日本兵が夢枕に立ち、この土地を買いなさいと勧めたので、その通りにしたそうです。今あるのは日本兵のお陰と、この女性は、敷地内にある古井戸を今も大切に守っているそうです。



残念

タイ・フェスティバル中止

毎年、5月の連休後の土日、30万人を越す人出で賑わっていたタイ・フェスティバルが、今年は東日本大震災を考慮し中止となりました。

同フェスティバルは当友好協会発足の年に始まり、同じ年の歴史を重ねてきました。3回目からは当会も後援団体として名を連ね、原会長も毎年オープンニングの式典に招かれ、出席してきました。

当初はタイ・フード・フェスティバルと名づけられ、タイ料理の屋台や食材などが中心でしたが、6回目から、タイ・フェスティバルとなり、タイ全体を紹介するものとなりました。

この時期、毎年「さわっでい・埼玉」でご案内してきたタイ・フェスティバル。来年5月には必ずや代々木公園でお会いできるものと思います。

編 集 後 記

● 友好親善訪問からの帰り、機中でニュージールランドの地震を知りました。多くの若者が未来を無くしたこと、東日本大震災と共に記憶しておきたいと思います。

(O)

● 「さわっでい・埼玉」も東日本大震災の影響を受けて、いつもより一か月程遅れのお届けとなりました。ご了承ください。

(S)

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

● 会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)